

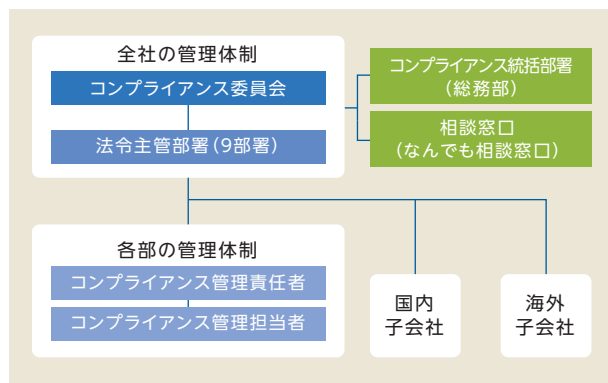
コンプライアンス

経営理念において「社会の一員として、法と倫理を遵守し、自然・地域と共生する企業をめざす」ことを宣言し、社会の期待に応えることを含めてコンプライアンス活動を進めています。

▶ 推進体制・仕組み

コンプライアンスに関する重要な施策などを検討するために社長を委員長とするコンプライアンス委員会を設置しています。また、日常の活動を支えるために法令主管部署および、各部にコンプライアンス管理責任者／管理担当者を設置することで、職場に適した活動を継続的に行うことができるよう取り組んでいます。

□ 組織・体制図



Topics

【独占禁止法への取り組み】

当社グループでは、2010年2月の米国司法省による米国子会社への立入調査以降、これを重く受け止め、独占禁止法に関するコンプライアンス体制をより一層強化し、再発防止策の徹底を図っています。

機密情報管理と情報セキュリティ

機密情報の適切な管理が事業活動の重要な一つと考えています。

お取引先の営業・技術情報、社員の個人に関わる情報は、適切な管理・取扱いをすべき資産であるとの認識に基づき、機密情報管理活動を推進しています。

▶ 推進体制と取り組み事項

当社では、「社員行動指針」に「機密情報は、規則に従って厳重に管理し、漏えいの防止に努めます。」と定め、各部に機密管理責任者、機密情報取扱者を置き、職場でのミーティングや自主点検を実施することで機密情報管理意識の向上に努めています。

具体的な取り組み事例としては、入退場者に対する持

ち物検査、新入社員教育や階層別教育での啓発、システムによる電子データの外部記録媒体への書き出し制限などを実施しています。

また、オールトヨタセキュリティガイドライン(ATSG)に基づく、ルールの周知、点検を当社および国内外の連結子会社で実施しています。

▶ 具体的な取り組み

■ コンプライアンス強調月間活動

毎年10月に実施する「コンプライアンス強調月間活動」では、コンプライアンス意識の維持および向上を図っています。職場でコンプライアンスについて討議する機会のほか、PC起動時のメッセージ、社内報や役員講話、DVD上映会などを行っています。

■ 教育・啓発

社会の期待に応え、信頼される企業となるためには、社員一人ひとりが自覚と誇りを持って行動することが不可欠と考え、階層別・テーマ別研修を開催しています。また、日常で起こりうるコンプライアンス事例を社内報およびニュースにて定期的に配信し啓発しています。

■ 内部通報

早期に問題を吸い上げ、解決するために、本社、各工場、労働組合、および社外の弁護士事務所に「なんでも相談窓口」を設置しており、社員からの相談にきめ細かく対応しています。

■ グループコンプライアンスへの取り組み

法令主管部署と国内・海外子会社が連携を図り、各社の状況や環境に応じた体制整備や啓発活動を行っています。